

技術部会 【2012年度の成果報告及び 2013年度の活動方針】

2013年5月24日

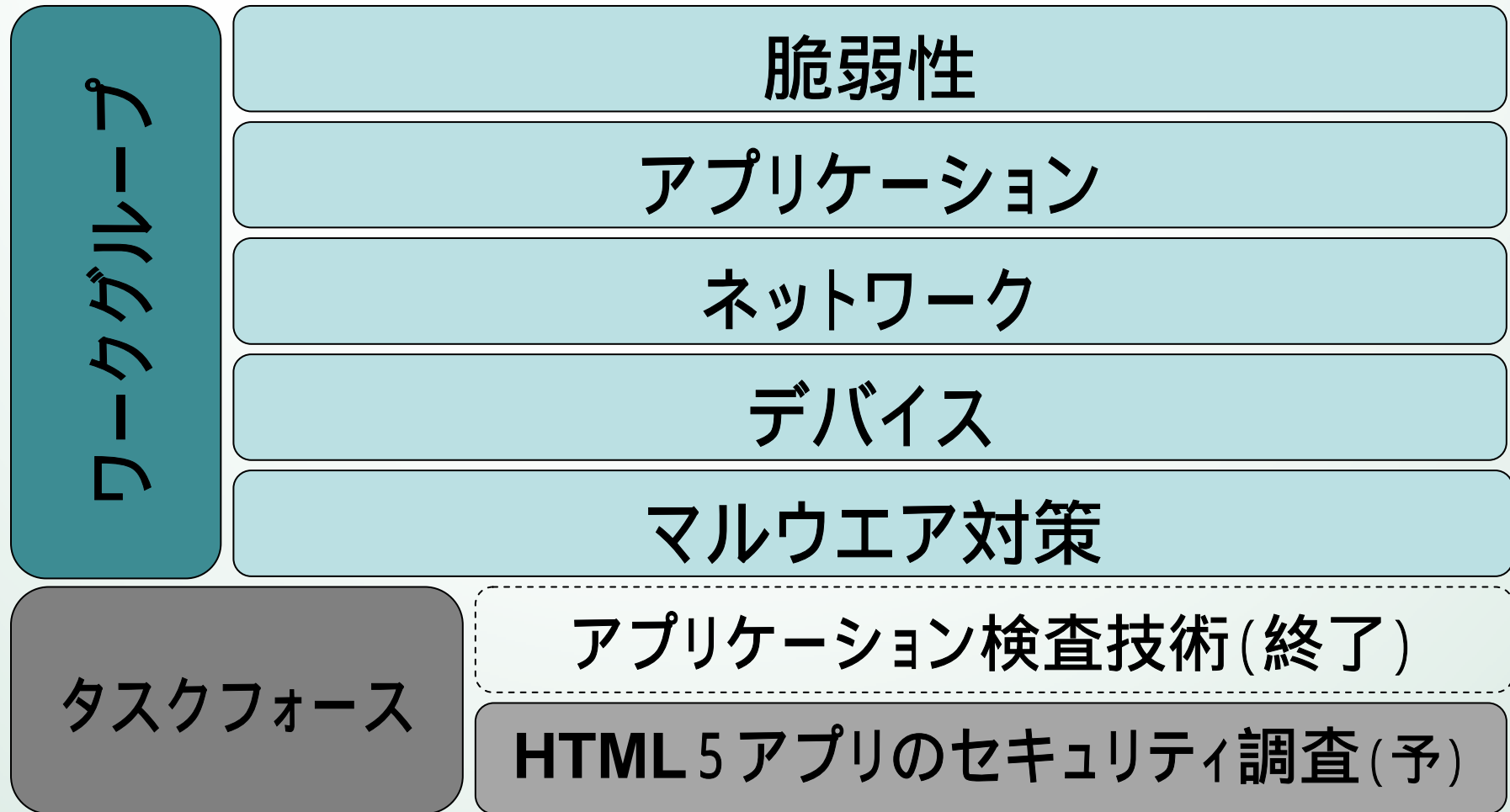
日本スマートフォンセキュリティ協会
技術部会

Agenda

- 技術部会の構成
- 2012年度の成果報告
 - 技術部会の成果(出版物)
 - 技術部会の成果(その他)
- 2013年度の活動方針
 - 技術部会新設のグループについて
 - 脆弱性ワークグループ
 - アプリケーションワークグループ
 - ネットワークワークグループ
 - デバイスワークグループ
 - マルウェア対策ワークグループ
 - 2013年度技術部会の構成

技術部会の構成

- ・5ワークグループで構成、タスクフォースについては必要に応じて作成



2012年度の成果報告

2012年度は、成果物の発表、その等を通じて、スマートフォン利用の安全安心に対して寄与することができた。

技術部会の成果物

- 各ワークグループから、下表に挙げる5種類の文書を提供する事ができた
- Androidアプリのセキュア設計・コーディングガイドについては、新規課題項目を追加し、更新版としてリリース(初版を含め3回リリース)
 - 初版の232ページから、最新版では363ページに増補

発表日時	成果物等
2012年06月11日	『Android アプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド』【6月1日版】
2012年06月19日	『スマートデバイスの堅牢化ガイド』【 版】公開 のち第一版
2012年06月26日	『MDM導入・運用検討ガイド』【 版】公開 のち第一版
2012年07月18日	『スマートフォンネットワークセキュリティ実装ガイド』【 版】公開 のち第一版
2012年11月19日	『Android アプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド』【12年11月1日版】
2013年04月23日	『Androidアプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド』【13年4月1日版】
2013年05月21日	『スマクラガイド』【 版】公開

技術部会の成果(その他)

- 文書の作成と公開以外にも、以下のような成果を上げている。
- ◆ ワンクリック詐欺アプリ作成容疑者逮捕に伴う座談会
(2012年07月10日)
- ◆ Androidスマートフォンにおける脆弱性の発見とIPAへの届け出
- ◆ 日本電子専門学校でのセキュアコーディング授業
 - 本授業については、出席する事で単位となった
- ◆ 『Android アプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド』
英語版の作成(現在査読中)
- ◆ 各種イベントへのメンバー出演による講演、取材対応、寄稿等
- ◆ アプリケーション検査技術TFの関連メンバーによる意見交換

2013年度の活動方針

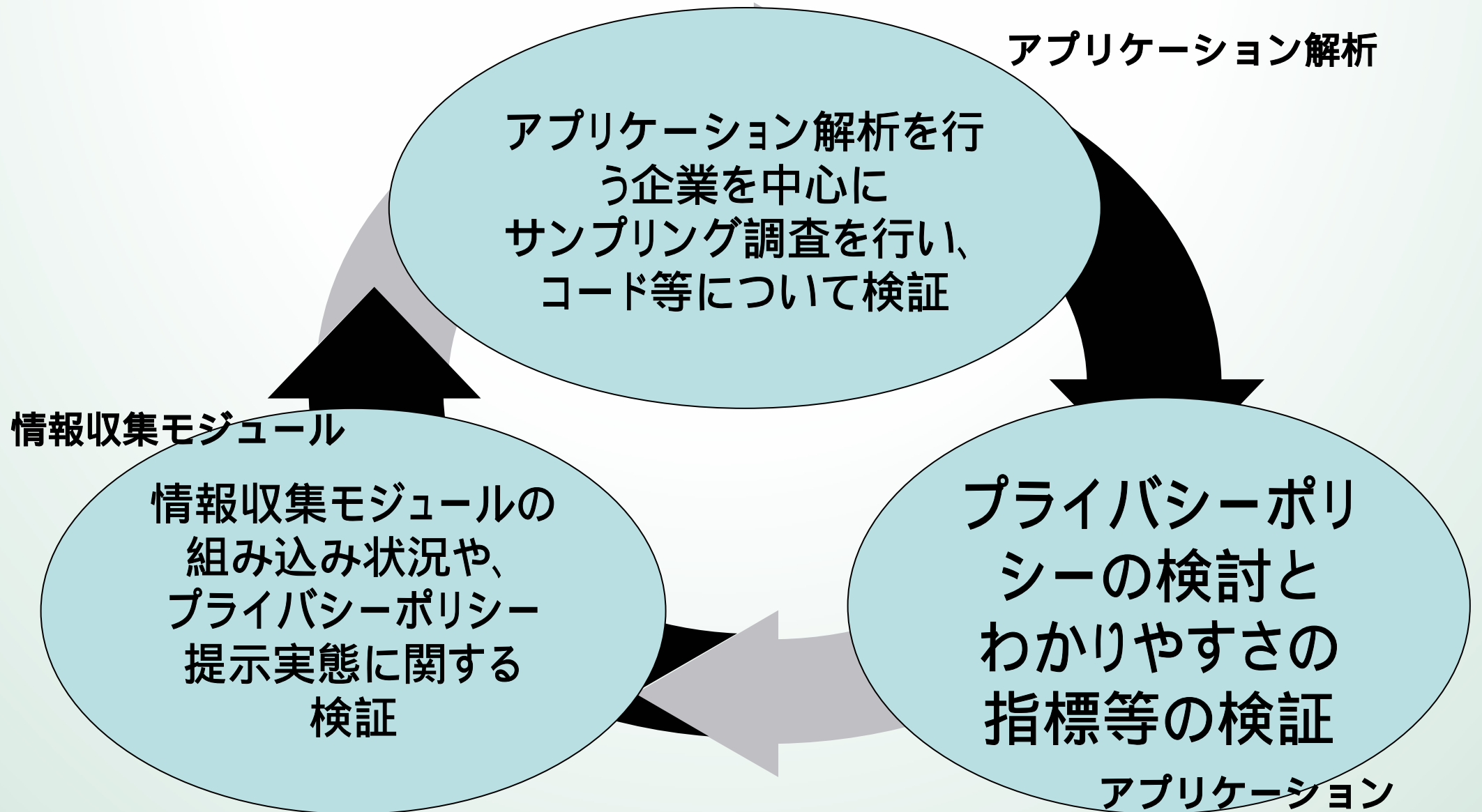
2013年度は、さらに活動の枠を広げ、スマートフォン利用の安心・安全に寄与して行きたい。

技術部会新設のグループについて

プライベート情報の取り扱いに関して、ユーザの安心安全のために

- アプリケーションワークグループ内
スマートフォン アプリケーション プ
ライバシーポリシー 検討グループ
情報収集モジュール調査グループ
- アプリケーション解析TF（新規：仮称
）

グループ間の相互関連性



脆弱性 ワークグループ

- 発見された脆弱性の対策検討
- 他機関 (IPA) 等との連携
 - アプリケーション解析TFとの連携
 - デバイスワークグループとの連携
 - マルウェア対策グループとの連携

アプリケーション ワークグループ

端末上のパーソナルデータの取り扱い等についてフォーカスする。

□スマートフォン アプリケーション プライバシーポリシー検討グループ

□情報収集モジュール調査グループ

□セキュアコーディンググループ

- 執筆者を広く募集する(執筆陣の拡充)
- 学校との連携を深め、学生(デベロッパーの卵)に対してセキュアコーディング考え方を浸透させる
- 他国語版を作成し、ワールドワイドへの展開を図る

ネットワーク ワークグループ

1. ネットワークグループ

- ・「スマートフォンネットワークセキュリティ実装ガイド」を本流にしての個別検討
 - ユースケースとそのベストプラクティス
(企業の規模、利用形態によるもの)
 - 公衆無線LANにおける課題と対策
 - テザリングにおける課題と対策

など

2. クラウドグループ

- ・「スマクラ」の公開と啓蒙活動

デバイスワークグループ

- Androidデバイスドライバの開発ガイド(仮称)の作成

デバイスWGの活動テーマは技術部会の全体会合にて募集をしており、「Androidのデバイスドライバ開発のセキュアコーディングガイドの作成」というご提案をいただいた。

しかし、Androidのデバイスドライバ開発はLinuxのデバイスドライバ開発とほぼ同様であるため、既存のものを超えるセキュアコーディングガイドがJSSECで作れるとは考えにくい。

そこで、脆弱性WGと相談した結果、デバイスドライバのセキュアコーディングに関する既存の書籍・文献として参考となるものをリストアップし、ドキュメント化する事でデバイスドライバ開発の支援を行う事を検討したい。

マルウェア対策ワークグループ

• タイムリーな情報発信の強化

1. 座談会の開催

- 時勢のセキュリティトピックに合わせた座談会等を開催
 - 年4回くらい開催したい…
- 少ないながら予算を確保してあるので、外部の識者等を招いたセッションも企画する

2. JSSECとしての情報発信

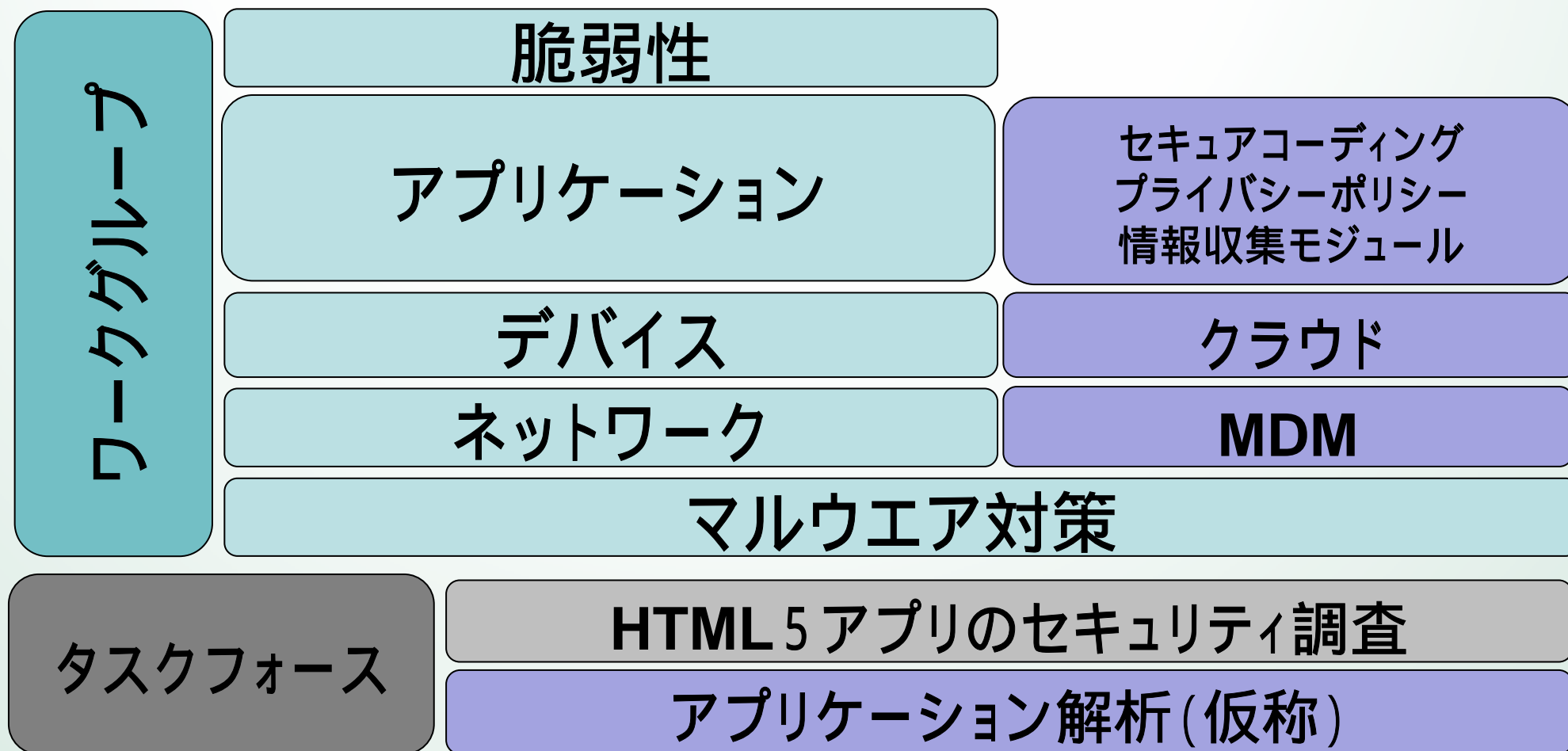
1. 取材対応
 2. 講師等要請時の派遣
- 以上は、WG参加社の持ち回り等で

3. マルウェアDB

- 引き続き公開できるように検討してゆく

2013年度技術部会の構成

- ・5ワークグループで構成、タスクフォース、ワークグループ内に設置するグループ等については、必要に応じて作成される



Thank You!!